



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第520号

2021年9月13日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

20年度決算を市はどう見ているのか

2020年度八千代市の決算が市議会に上程され、9月14日から4日間にわたって審査が行われます。日本共産党は、市民の暮らし・福祉などに予算が使われたのか、無駄な事業に使われていないか、何よりも新型コロナウイルス対策で市民の命と健康を守ることにつながったのかなど質してまいります。

市は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市民生活等に深刻な影響を及ぼしている。このため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活の支援を図ることを目的に各種支援策を実施した。(市の決算概要から)

国の無為無策のなか日本共産党は奮闘

20年度は、安倍・菅政権のもとで、新型コロナウイルス感染が拡大、「GOTOトラベルキャンペーン」で感染拡大を全国に拡散させる一方、PCR検査の遅れ、自粛を求めながらまともな補償も、医療機関・医療従事者への支援もまともに行われず、国民生活に深刻な影響をもたらしました。

特別定額給付金、持続化給付金も一回ぼっきりで、中小企業の倒産。廃業が増え続けています。「飲食店ばかりいじめて、まともな補償をしない。もう自民党には入れない」との声が、巷に広がっています。

日本共産党は、「新生児特別定額給付金」の創設、中小企業経営支援として、10万円から15万円への増額を実現、高齢者へのインフルエンザ予防接種の無償化など実現させてきました。

市民の暮らし最優先に財源を活用すべき

八千代市の財政規模は、歳入810億円・歳出783億円で対前年度30%以上の伸びとなっています。実質収支は20億円の黒字で、うち10億円は財政調整基金に積み立てることで、21年度末には40億円になり、新型コロナ対策などこの財源を有効に活用すべきです。

市債残高は、約480億円で、対前年度32億円の減少となっているが、公共施設の耐震補強、老朽化対策など経費の増が考えられ、市庁舎も建て替えではなく、耐震補強を大至急行うべきです。

市は、財政の硬直化として経常収支比率が高止まりしていると財政の健全化を言うが、そもそも自治体の仕事は、「福祉の増進」(地方自治法)にあり、市民の暮らし・福祉、教育など最優先に行うべきです。八千代市の財政力は、県下7番目で稼ぐ力があります。



日本共産党は、今後とも新型コロナ対策など市民の安全・安心のために頑張る決意です。